

しんしろ城下町の会 Vol.24

活動への応援、ご協力をお願いします。

新城中部地域計画キャッチフレーズ

新城城下に

華やかさと賑わいを！

しんしろ城下町の会は、新城市地域活動交付金事業を受け、「新城中部地区・地域交流促進事業」を実施しています。

新城中部地区・地域交流促進事業

①歴史を感じるまち

昨年度開催した『今昔物語』の続編として、当地域の歴史文化を中心とした資料展示、講習会の開催

②きれいなまち

小学校農場「ふあんふあんファーム」にてサツマイモ及び花の栽培、『奇跡のヒマワリ』等の栽培

③元気なまち

講師によるラジオ体操講習会の開催、しるあと資料館付近の散策道の整備

新城中部 今昔物語 続編

展示資料を紹介します！

平成29年2月4日(土)・5日(日)の2日間、新城文化会館展示室にて『能楽』『立物花火』の展示講演会を開催します。今回は『能楽』の1部を、次回は、『立物花火』を紹介します。お楽しみに！

しんしろ 新城における能楽の沿革

新城の能楽は、天正三年(1575年)長篠の戦いの功によって奥平信昌が当地に城を築き、翌天正四年その竣工の祝能を観世与三郎(後の九世観世右近大夫)を招いて城中二の丸で行った。これが当地能楽の始めである。

その後慶安元年に丹波の亀山から管沼定実が当地へ移封せられたが、風流な城主で能楽を愛好し、町民の間にも普及してさかんに行なわれるようになった。この二代後の定用の家督を祝って、元文元年(1736年)氏神の祭礼に本町の氏子が能楽を奉納した。これが例となり年々祭礼能を奉納し、新城能楽社として親から子へ、子から孫へと連綿として今日まで継承され市の無形文化財に指定されている。

新城能楽社は富永神社内に能楽殿を有し、数多くの能面・能装束を所蔵している。

新城能楽社
愛知県新城市



ふあんふあんファーム

サツマイモを収穫しました！

10月31日(月)新小農園ふあんふあんファームにて、6年生のみんなと当会で6月に植えたサツマイモの収穫を行いました。ずっと未利用となっていた農園も年々賑やかにになり、収穫体験を通し、校内・地域の交流の場として続いていくよう、ささやかながらお手伝いさせて頂きたいと思えます。



まちづくりや地域への提案などありましたら、気軽に声をおかけください。

発行 平成28年12月1日

新城自治振興事務所

電話 0536(23)7693

FAX 0536(23)7694